

# 東日本大震災における松島町の被害状況及び保健活動について

東日本大震災の被災市町村における公衆衛生の

復興活動に関するワークショップ

## 1. 松島町の概要

人口 15,255 人、世帯数 5,495 世帯、面積 54 k m<sup>2</sup> (H24.4.1 現在)

65 歳以上人口 30.9%、高齢者単身世帯 474 世帯 (H22.4 月)

町の基幹産業は農業・漁業・商業・観光の 4 本柱、観光客は年間 350 万人を超える。

## 2. 松島町の被災状況

- (1) 概況；店舗や住宅への浸水及び全半壊、ブロック塀の倒壊、外壁の崩落、崖崩れ、道路の亀裂等
- (2) 津波による浸水面積；2 k m<sup>2</sup> (国土地理院計測・概略値)
- (3) 家屋等被害；全壊 221 戸、大規模半壊 358 戸、半壊 1,230 戸、一部損壊 1,553 戸 (H24. 8 月末)  
上記のうち 床上浸水 188 戸、床下浸水 82 戸
- (4) 人的被害；死亡者 16 人 (町内で 2 人、町外で 14 人)、行方不明 0 人、重軽傷者 37 人
- (5) 避難状況；避難所数 45 箇所、避難者数 3,719 人 (ピーク時 3 月 12 日現在)
- (6) ライフライン；電気・・・3 月 18 日全域通電、水道・・・4 月 3 日全域復旧
- (7) 交通；東北本線 4 月 21 日運行再開、仙石線 5 月 28 日運行再開、町民バス 4 月 1 日運行開始

## 3. 医療の状況

3 月 13 日 町内 A 病院、B クリニック診療再開

3 月 14 日 町内 C 診療所診療再開 (1 階部分の浸水被害あり)

3 月 14 日 B クリニックにて透析再開 (常時 6 t の水位確保と給水)

3 月 16 日～各種派遣医療チームによる避難所等における診療 (4 月 4 日まで延 14 日、24 チーム)

## 4. 支援による保健活動

3 月 14 日～15 日 秋田県にかほ市より保健師 2 名派遣

3 月 18 日～20 日 松島在住在宅保健師による避難所での健康相談

3 月 18 日～4 月 6 日 長崎県佐世保市より保健師派遣 (20 日間、延 40 名)

## 5. 震災直後の保健活動 (町民福祉課健康長寿班の活動を中心に)

- ・ 3 月 11 日地震発生の夜より、避難所の巡回を開始。(避難者の状況及び健康チェック)
- ・ 保健福祉センターに 176 人の避難者が来所し、休養スペース、食事の提供を開始。
- ・ 12 日からの避難所の巡回等においては、役場庁舎内の職員と連携し、ライフライン等生活面については事務職が説明等を行い、健康面の相談、医療機関の情報提供等については保健師が行うなど、役割分担を決めたため効率よく巡回ができた。派遣の保健師の家庭訪問時も同様に対応。
- ・ 町の保健師等の家庭訪問については、災害台帳等に基づき避難所で確認できなかった心配な方を中心に訪問。地域包括支援センターにおいては、要支援の認定者・ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等訪問。電話復旧後は、保健福祉センターの職員と臨時の看護師等で、高齢者の安否確認と、生活について困っていることが無い確認作業を行った。
- ・ 宅配夕食サービスを利用している方は日常の買い物も困難な方でもあるため、3 月 23 日より、見守りを含め水・缶詰・パック飯・レトルト食品等を 2 日に 1 度の頻度で宅配を実施した。本来の宅配夕食サービスについては、業者が復旧し業務ができるようになった 4 月 11 日から開始している。

- ・保健福祉センターにおける避難者のうち、帰宅困難者について家族調整等支援を行い、4月9日最後の2名が介護付高齢者有料老人ホームに移動して、避難所を閉鎖した。
- ・3月15日にボランティアセンターを立ち上げるため、健康長寿班より職員1名派遣。
- ・3月25日より介護保険認定調査を再開。(7月～12月末まで東京都の認定調査員派遣)

## 6. 現在までの保健活動

### (1) 地区健康相談会 (H23. 9月～)

浸水・家屋破損の激しく、独居高齢者世帯が多い地区を対象。

地区の協力のもと、保健師による健康相談、レクリエーションの実施

### (2) 民間賃貸住宅入居者訪問調査 (H23. 11月～)

77世帯(うち被災時の居住場所が町外42)、228人対象、要フォロー者数30人

みやぎ心のケアセンターの協力により継続フォロー中(11人)

### (3) 心の健康調査の実施 (H24. 4月～)

総合健診案内に同封し、18歳以上の町民が所属する世帯に配布。

回収率40%、ハイリスク者5%(99人)

みやぎ心のケアセンターの協力により継続フォロー中(12人)

### (4) 総合健診会場における心の健康相談コーナー設置 (H24. 9月)

総合健診に来場した受診者のうち希望者。個別通知による案内も実施。

疲労・メンタルヘルス検査の実施。

チェック表にもとづき、精神保健福祉士による個別相談の実施(59人利用)。

## 7. 震災を経験して考えること

### (1) 地域のことを知るきっかけ

地理、社会資源、人材、住民の構成や価値観等

### (2) 特に医療を必要とする方への支援の課題

透析の方、在宅酸素の方、遠方の専門病院を利用している方、精神科に通院している方等

電源や水の確保、交通手段の確保、診療や服薬の中断回避

### (3) 行政組織の一員としての役割について

住民が生活するために必要なすべてのことに関する相談や支援に務めるということ。

指示を得る事が困難な時、個人の判断が必要な時、カンファレンスの大事さ。

### (4) 支援をする・支援を受けるということ

多くの行政や組織、個人の方々の支援による復旧復興。

個人の力と集団の力。